



愛と復興

9月会議の内容

平成24年度決算認定 100億円	2
一般会計1億1,600万円追加補正	5
国に対し意見書を提出／提出議案賛否一覧表	6
町民からの陳情・請願	7
常任委員会の活動報告	8
広報特別委員会の活動報告／追跡調査	9
一般質問 (11人の議員が登壇)	10
聴かせてくんつえ 議員の突撃インタビュー	21

発行：福島県南会津郡只見町議会
編集：只見町議会広報特別委員会
〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30
TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222
E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp

議会だより

の意見

▼敬老会（9月8日、明和地区センター）

健康長寿バンザイ!



算認定100億円強!!

ブランド回復活動 支援給付金事業

3億2,218万円

東日本大震災に係るブランドイメージ回復給付金として大人4万円、妊婦及び18歳以下の子どもに20万円が県より給付されました。

克雪対策

屋根対策補助金

1,970万円

除雪機械補助金

1,705万円

克雪対策に係る住宅の屋根改修や除雪機械購入補助金です。

只見高校振興対策

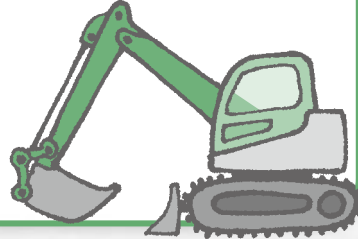
3,151万円

県立只見高校の振興対策に要した費用総額です（補助金や奥会津学習センター運営等に関するものです）。

災害復旧費

9億6,800万円

平成23年7月豪雨災害による災害復旧費の総額です。なお約13億円が翌年度に繰り越されました。



只見川流域豪雨 災害復興交付金

4億円

県から給付された交付金を被災住民支援のために基金として積み立てたものです。

電子カルテ導入

2,835万円

朝日診療所の診察カルテを電子化し、各機関との連携・効率化を図ったものです。

9月17日から27日までの11日間、9月会議が開かれ、平成24年度の決算認定を主に審議しました。平成24年度の決算総額は、特別会計を含めると100億2300万円となり、前年度に比べて20%増、特に一般会計については実

質収支額が1億8000万円となり、そのうち1億円を基金に積み立て、約8000万円を翌年度に繰り越しました。平成23年度決算より約20億円程多く、主な特色ある事業として次のようなものがありました。

決算特別委員会 Q & A

問 町有財産を処分されたが議会に報告すべきではなかったか？

答 売却金額・面積が基準以下だったため報告義務はなかった。(注1)

問 H24年度町税が伸びた要因は？

答 災害復旧工事関係により町内が活性化されたのが要因。

問 町で加入している全国町村会総合賠償保険はどのようなものか？

答 町が加害者となるような事が起こった場合に賠償される保険である。

問 少子化対策として子宝祝金のさらなる充実が必要では？

答 第一子よりの支給に今後前向きに検討する。

問 克雪対策や除雪支援等の事業は今後も実施していくのか？

答 期限のある事業もあるが今後も続けて行きたい。

問 朝日診療所への町からの繰出金(注2)が続く現状をどう思うか？

答 特別会計(注3)は独立採算が原則であり繰出金が当然であるとは思っていない。

問 農業振興策全般において小規模農家への施策が足りていないのでは？

答 現在の補助金制度の見直しから検討していきたい。

問 ブナセンター運営に対する費用対効果が多量に少ないのでは？

答 観光施設というより学術的施設との位置付けで考えている。

問 プレミアム商品券補助は有効な事業であるが追加補助の考えは？

答 現時点では考えられないが効果を含めて検討する。

問 町道除雪の除雪頻度を増やす事はできないか？
オペレーター等の課題もあり現体制では精一杯の状況だが検討したい。

問 森林整備や林業振興に対し今後より予算を割くべきでは？

答 エコパークの町として林業振興は必須であり人材育成の必要性を含め検討する。

問 只見高校振興対策補助金の効果は？

答 奥会津の中核校として存続するためのブランド化・差別化につながっている。

問 ALT(注4)の先生は有効活用されているか？
まだまだ充分とは言えないのでより積極的な活用がされるよう働きかけていく。

問 休眠基金(注5)があるようだが今後の活用予定は？
いくつかあるが制約のないものは新年度より活用を検討したい。

問 繰越金が多いが積極的な財政運用はされたのか？

答 今後投資的事業を検討し議会と共通認識を持って積極的に進めたい。

問 朝日診療所で導入された電子カルテの効果は？

答 診療所内の情報共有化により様々な負担軽減につながった。

注1～注5の解説

(注1) 町有財産処分に係る議会への報告基準：予定価格700万円以上、または5000㎡以上の土地については議会に報告義務がある。

(注2) 繰出金：本来は別会計だが、必要に応じて主に一般会計から特別会計に支出されるもの。

(注3) 特別会計：一般会計とは別に設けられ、独立した経理管理が行なわれる会計。

(注4) ALT(外国語指導助手)：Assistant Language Teacherの略で、外国語を母国語とする外国語指導助手。小・中学校で英語指導助手をつとめる。

(注5) 休眠基金：長い間出し入れがなく、そのままになっている基金。

平成24年度決算に係る 監査委員からの意見

町長は、町の決算内容を議会の認定を受ける前に監査委員の審査に付さなければならない法律の定めがあります。8月に行われた平成24年度分の決算監査において、監査委員から5つの意見が付されましたので、その要点をお知らせします。



決算監査受検状況

① 林道災害復旧事業

工事業者の不足などによって、決まった年限内での完了が難しい状況にあるため、国・県との協議・対策を講ずるべきであること。

② 只見高校振興対策

生徒数の減少から県立只見高校の存続が大きな問題となっており、町をあげた振興対策と今後さらに地域ぐるみの取り組みが重要であること。

③ 基金の有効な管理

町の基金には、積み立て当時のまま活用せず残された基金もあるため、改めてその財源の有効管理を行うべきであること。

④ 投資的経費

町の財政は健全化を堅持しているが、今後は災害復興を見据え、町民福祉の向上に資する投資的な事業も積極的に行うべきであること。

⑤ 事務処理

町の財務規則に定められた事務処理を徹底すること。

只見町議会では、決算認定に当たり特別委員会を設置して、町当局から説明を受け審議しました。9月20日～26日にかけて委員会審議を行い、その結果、次の意見を付して決算認定いたしました。

意見書

① 基金

財政運営上の計画性に努められたい。特に、休眠基金を使って積極的に投資的事業の充実を図ること。

② 町有財産管理

企業立地は当町の重要課題である。平成23年に 町工場用地

決算特別委員会の審査結果 4つの意見を付し認定

(行政財産)として議会協議を重ねて取得した町有地について、民間譲渡されている。今後においては、議会との協議と計画的な財産管理・運用に努めること。

③ 子宝祝金

少子高齢化は町の将来を左右する大問題であるが具体的な施策がない。現行の第三子以上のみでなく、只見町で生まれてくる子ども全員に子宝祝金を支給するなど、効果のある具体的な施策を検討されたい。

④ 議案説明

当局職員の議案説明が判りづらく的確でない。担当の事業内容を把握していない職員や資料を用意していない職員も見られた。意欲の啓発・職員教育に留意されたい。



決算特別委員会審議状況

平成25年度

一般会計

1億1,600万円追加補正



里帰り出産で利用される町内の保育所の様子

9月会議に1億1,600万円を追加する平成25年度一般会計補正予算が提案され、原案の通り可決しました。歳入は、7月確定分の地方交付税の増額補正など。歳出は、集落除雪を支援するための除雪機購入補助金、里帰り出産を支援するための実家保育所の入所委託、豪雨災害で被害を受けた農地を復旧させるための委託予算などで、賄う財源として予備費5,700万円があてられました。ここでは、事業の内容や質疑を要約してお伝えします。

集落除雪を支援する補助金 3,964万円 「地域支え合い体制づくり事業」

集落で除雪機械や格納庫を備え、高齢者世帯などの除雪を支援するこの事業に、今年、布沢、亀岡、熊倉、荒島、黒沢、只見田中、新屋敷、入叶津、八木沢、蒲生の各集落が取り組まれます。

生態系保全地 新設工事 380万1千円

黒谷地区に進められている「ビオトープ」(生態系保全地)の工事金額が単価の見直しや安全対策を進めるために増額補正されました。今後の管理の難しさが

朝日地区センターまちづくり 推進員報酬 93万6千円減額

欠員により予算の減額が提案されましたが、空き家調査などの重要な仕事が出されました。事も控えており、今後体制の充実を行うよう意見が出されました。

農地災害の測量設計委託料 200万円

豪雨災害によって被災した田んぼの復旧工事が、今回新たに測量設計



町民とまちづくり推進員による聞き取り調査

補正予算全般の 在り方について

施設の修繕料など、毎年ほぼ確実に予想される経費は、年間予算計画を立て、節度ある財政運営を行うよう求めました。

委託料が追加補正されました。工事の進捗状況によっては、来年も一部作付できない場所が残る可能性があります。

国に対し2件の意見書を提出！

1 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかることに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」に



南会津町で開催された全国森林環境税創設促進議員連盟総会（7月11日）

2 道州制導入に断固反対する意見書

よる税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

町村は、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統文化を守り、自然を活かした地場産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、ひいては、全体としての国力の増強につながるものであると確信している。よって、我々只見町議会は、道州制の導入に断固反対する。

平成25年9月会議提出議案賛否一覧表

今回の9月会議で提出された議案に対する各議員の賛否一覧表です。

議案番号	議案名	酒井右一	藤田力	小沼信孝	中野大徳	目黒仁也	鈴木征	新國秀一	大塚純一郎	石橋明日香	佐藤孝義	山岸フミ子
71号	只見町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72号	只見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73号	町有財産の貸付について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74号	平成25年度只見町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75号	平成25年度只見町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76号	平成25年度只見町国民健康保険施設特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77号	平成25年度只見町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78号	平成25年度只見町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79号	平成25年度只見町介護老人保健施設特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80号	平成25年度只見町簡易水道特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81号	平成25年度只見町観光施設事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82号	平成25年度只見町集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定1	平成24年度只見町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定2	平成24年度只見町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定3	平成24年度只見町国民健康保険施設特別会計最終歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定4	平成24年度只見町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定5	平成24年度只見町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定6	平成24年度只見町介護老人保健施設特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定7	平成24年度只見町訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定8	平成24年度只見町地域包括支援センター特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定9	平成24年度只見町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定10	平成24年度只見町観光施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定11	平成24年度只見町交流施設特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定12	平成24年度只見町集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定13	平成24年度只見町朝日財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意4号	教育委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

町民からの陳情・請願

あの陳情の行方と結果

新たな陳情・請願

採 択

**萬代橋の架け
替えについて**

採択の理由

本件は、平成23年7月発生の豪雨により落橋した橋梁の早期復旧と拡幅改良を要望するものであります。

萬代橋は本町の住民が生活の基幹道路として利用しているほか、当該橋梁の落橋は地域振興に重大な支障をきたしています。陳情は合理性があるものと認め採択しました。



現地調査時の萬代橋

採 択

**只見地区センター
―早期建設に
関する要望書**

採択の理由

本件は、只見総合開発センターを解体撤去の上、只見町役場本庁舎とは別に、現在の敷地内に単独建設を要望するものです。役場庁舎建設に係る只見町地域計画審議会の答申、只見町議会公共施設等調査特別委員会の審査報告等を踏まえ、陳情者からの意見聴き取りも交えながら慎重に議論を重ねました。住民要望や耐震補強

の費用対効果の審議を行った結果、新庁舎との合築はせず、現在の敷地内において単独建設する旨の要望書を重視し採択しました。

▼要望者を交えた
総務厚生常任委員会
(9月10日)



9月会議で新たに付託された請願・陳情は次の2件です。

❖ ❖ ❖

**町道小林上坪から
橋場線の道路改良**



**経済文教常任委員会
に付託**

地元区長や明和小・保育所のPTAから、明和保育所や小学校の通学路及び和の里や会津工場などへの通勤路となる町道路線の拡幅改良を要望されました。

❖ ❖ ❖

**TPP交渉に関する
請願書**



**経済文教常任委員会
に付託**

(紹介議員：中野大徳議員)

会津みなみ農業協同組合から、TPP交渉に係る情報開示及び今後における慎重な交渉を求める意見書を政府及び関係機関に提出する旨要望されました。

常任委員会の活動報告

総務厚生常任委員会

●只見総合開発センターの再利 用に関する調査

只見総合開発センターは、老朽化で耐震強度が弱く、その使用が危険であることから、耐震補強によって使用するか、現在の場所に新築するか、または、新役場庁舎へ合築かなど、その方法が検討されてきました。

審議の経過は、7ページ記載のとおりです。なお、今後の具体的な施設の内容については、住民説明を十分に行いながら進めていかれる旨、町当局との協議で依頼しました。

●JR只見線の早期全線開通に関する調査

福島県はじめ、流域町村団体上げた要望活動等国、JR東日本本社へ行っておりですが、進展が見



られない状況です。この路線は、戦後復興のダム建設の物資輸送路線として敷設以来、全線開通に多くの人々が努力され、地域の観光や住民の足として役割を果たしてきました。

当委員会では、今後、決議や近隣金山町、魚沼市などの連携で活動をさらに進めていきます。今後は、地域を挙げた運動として盛り上げる必要があります。

▲只見駅開業50周年記念式典で元気に歌とダンスを披露する只見保育所の子どもたち（8月20日）

経済文教常任委員会

●「道の駅」視察調査

只見町において、「只見型道の駅構想」が計画されていることから、道の駅が当町の産業振興に寄与するものとなるため、先進地である「道の駅」を現地調査しました。

〈視察日時〉

平成25年7月17日～19日

〈視察箇所〉

長野県栄村「道の駅信越さかえ」

他10箇所（長野県6箇所、山梨県2箇所、千葉県・福島県各1箇所）

〈視察内容〉

調査では、施設外観から施設敷地内の展示配置及び販売状況のほか、従業員等から販売実績や施

設運営における課題等について確認しました。

〈視察成果〉

「道の駅」建設は、国道289号八十里越の早期

開通などに備えた地域振興及び産業振興対策の観点から建設が必要とされています。町では、ユニスコエコパークへの登録申請をしていることから、

観光PRの強化も含め、地場産品の販売促進に向けて「道の駅」建設構想を住民とともに進めていくべきと考えます。

※このほか、県立只見高校振興対策を目的とした千葉県柏市教育委員会との意見交換を行いました。



長野県栄村「信越さかえ」での視察の様子（7月17日）

広報特別委員会の活動報告

行政視察報告

視察日時

平成25年8月6～8日

視察研修先

岩手県岩泉町議会広報特別委員会
宮城県利府町議会広報常任委員会

※どちらも平成24年度議会広報全国コンクール優秀賞受賞町議会

〈目的〉

当委員会では、町民の皆様にとって読みやすく親しみやすい議会だよりで少しでも議会のことを理解していただくこと、議会だより作成に鋭意努めています。しかし、なかなかご満足頂けるものができず、発行も遅れがちでした。この現状を改善すべく、例年議会広報全国コンクールで優秀賞を受賞している議会を訪ねることでノウハウを伺い、編集上の課題等につ

〈視察内容〉

いて意見交換することになりました。

編集方針や役割分担等に違いはあるものの、いずれの議会も確たる広報誌作成マニュアルがあり、役割分担・スケジュールリング・編集方針等が事細かに規定され、誰が委員になっても同じ質の広報誌が滞りなく出来上がる万全な体制が敷かれています。いかに住民に「読みやすく・わかりやすく・親しまれる議会



広報特別委員会視察研修の様子
(8月7日)

〈視察成果〉

研修後すぐに只見町広報としての独自のマニュアル作成に取り組み、議会後速やかに、かつ中身のある議会だよりを発行できる体制を整えました。今後、全国コンクールで優秀賞を受賞できるように、また、町民の皆様

愛される議会だよりを作成すべく、努めてまいります。

追跡調査 「少子高齢化への取り組み」



「山コン」に参加の若い男女が三石神社に参拝(9月13日)

少子高齢化に関する問題について、総務厚生常任委員会において町の最重要課題ととらえ、担当課を定めて取り組むよう提言してきました。その後の取り組みについて追跡しました。

「平成23年度に少子化対策プロジェクトを設置、出会いの場など商工会等とタイアップして年2回程度実施しています。数字的には、まだ表れませんが参加者の方からは、大変良かったとの声を聞きます。

また、平成24年度には少子化対策の一つとして、不妊治療の町補助を得ました。」(町当局談)

今後も若い人の出会いの場など継続し充実させたいものです。

大塚純一郎 議員

只見町の10年後の姿は？

—— 今後も只見町に

住み続けられる対策が必要

町長



大塚議員 少子、過疎、高齢化に歯止めがかからない町の現状で、今、確かな政策の実行が求められている。その中で、若者定住政策や住宅政策はどの様に進められるのか。

町長 今後町民が住み続けることができる対策を講ずる。医療、介護福祉はもちろん、次代を担う世代の確保、育成、そのための働き場、住宅の確保、交流環境等の整

備に力を入れる。

大塚議員 具体的な政策が示されていないが、この様な状態、取り組みで自立できる町になれるのか。

町長 地域特性を理解しながら、各地区の拠点機能を充実させ、住民協働の体制と気運を盛り上げていきたい。さらに、コンパクトな生活環境等の整備と、地域資源等を活かした交流人口の拡大や、U、Iターン者の受

け入れ施策を充実させる。

大塚議員 群馬県上野村では、現在の人口1363人だが村の総合計画で目指す人口を1500人とし、今後10年間で人口対策を明確な重点政策としている。また、長野県川上村では、経済的な安定を目指し農業を産業基盤の中心と位置付けた政策を展開し、今ではレタス生産量日本一の村となった。農家平均年収2500万円を超える。過疎

化や少子高齢化とは無縁の豊かな村になった。高収入が決め手なのか若者も増え続け、村の嫁さんの7割が東京など都会から嫁いできている。明確な目標を設定し、タイムリーな施策の実行が今、

求められていると思う。
町長 若者定住のための持ち家建設に対する支援策等を検討してまいりたい。また、特産品の開発を含め、農業の6次産業化の検討をしている。



次世代の子どもたちが住み続ける対策が必要 (教育委員会事業、カルガモ教室)

酒井 右一 議員

洪水検証業務報告は 契約どおりか？

—— 調査の目的は満たしている

町長

酒井議員 超学際的研究機構（以下、超学際と呼称する）の調査は、「調査目的」と「仕様」を満たしているか町長に問う。

町長 満たしている。

酒井議員 満たしていないのではないか。超学際

と交わした契約では、調査目的を7・29新潟福島豪雨災害の発生メカニズムを検証することとされている。この災害にはダム災害の検証が必要である。さらに、ダム操作規定違反と町長の情報周知

義務違反についても、その事実を認めながら検証していない。

町長 調査は契約の通りの仕様と認めた。

酒井議員 過日（6月21日）の調査結果住民説明会で住民は調査結果に納得されたか。

町長 納得されたと考えている。

酒井議員 何を根拠に住民が納得されたと考えるか。説明会の後日談を聴けば、会場は騒然としていて住民は納得されていない

ないと受け取れるかどうか。また、その後、住民の一部から調査結果が納得できない趣旨の公開質問状が出ている。住民は納得されていないと考えて当然だが、それでも納得されたと考えるか。

町長 調査結果は調査目的と仕様を満たしている。

酒井議員 私はこれまでデータを示し論理的に質問をしている。それでも調査結果は妥当だと強弁するのであれば、絶対に

交わらない平行線をたどる議論で客観性がない。しかし、真実の一つである。そのことに大半の住民やマスコミは気が付いている。住民に対する町長の信頼が薄れている。ダム放流の情報を住民に知らせず被害が拡大した

ことについて、改めて住民に説明し謝罪するつもりはないか。

町長 これまでも謝罪の言葉は申し上げたつもり。それが充分被災者の心を救ったかは分からない。責任を持って取り組んでいく。



八木沢地区の河川災害復旧状況（7月下旬撮影）

小沼 信孝 議員

緊急時の情報提供の在り方は？

—— 情報通信手段の多重化を検討している 町長



小沼議員 町内にある広報無線屋外スピーカーは現在何か所設置されているのか。雨などが降っている際非常に聞き取りにくい箇所があるようだが、そういった問題を改善していく考えはあるのか。

町長 屋外スピーカーは現時点町内47基設置している、降雨時や風向きにより聴取に影響があることも承知している。

町民生活課長 現時点では屋外スピーカーの改修や増設する考えはない。

小沼議員 本当にそれで良いのかも一度町長にお聞きしたい。

町長 防災の観点からしても、また災害時の情報通信手段としては非常に重要なことであるので戸別受信機を含め十分検討していきたい。

小沼議員 災害時の情報の受け取り方について伺いたい。

町長 防災無線のデジタル化、情報通信手段の多重化に向け検討を始め

たところである。また本年6月の防災訓練の折は緊急速報メールを発信した経緯もある。

小沼議員 緊急速報メールを出された際、受信できなかった方もあったようだが、今後の対策として、緊急速報を発信する事も大切であるが、情報を受け取る側がどこにいても自分の住んでいる只見町の情報を自らアクセスして入手するような情報発信の仕組みを作る考えはないか。

町民生活課長 只見町のホームページをリニューアルする際に情報通信手段の多重化と併せ検討していきたい。



携帯電話などでも情報を受け取れる方法はないか（イメージ）

目黒仁也議員

復興目標と施策の方向性を年内に

——大切な時期であり前向きに考える **町長**



目黒議員 災害復旧事業も林道を除き、概ね本年度で完了のめどが立ってきた。来年度からは、いよいよ次のステップの「復興」に向けた取り組みとなる。この節目に当たり、10年、15年先を見据えた目標と施策の方向

性、その概略を年内に示される考えはあるか。

町長 若い人の発想にあうような事業展開が今後は必要と考えており、投資的な事業にも今後積極的に取り組んでいく。今後の方針は重要と考えている。

目黒議員 現在の町の総合計画は27年度で終わる。今後復興10年を見通す中で、来年度早い時期から協議の場を設けるなど、前倒しで着手できないか。
総務企画課長 結果をどう出すかが問題だ。議員

の意見は理解できる。十分受け止めて今後検討する。

目黒議員 災害の教訓から、「想定外はない」認識で、今後の被害を認識する必要がある。想定外の被害として、ダム決壊、本庁舎の被災、柏崎刈羽原発等様々ある。どのような認識で今回の防災計画の見直しを進めているか。
町長 今回の災害からいくらかハード的な準備があっても、自然にはかなわないという認識を深く

した。安易な考えでは今後のぞめないと思っ

る。
町民生活課長 今回の反省から初動マニュアルの検討は十分行う。

目黒議員 防災対策とその他の事業発展のために、情報提供の仕組みをもう一度考え直す必要がある。これは、将来の観光、福祉、農業、企業誘致など、他の分野でも新しい切り

口での事業展開を可能にするためだ。

町長 防災上も現システムでは課題がある。他の事業展開のためにも議員言われる総合情報システムは、今後進めたいと考えている。



檜枝岐村の情報システムを学ぶ（9月4日）

新國秀一議員

豪雨災害復興基金事業の進捗は？

—— 県の基準に則り、進めている 町長



新國議員 豪雨災害復興基金について、現在までの生活再建支援金の支給状況は。

町長 9月13日で、申請68件、執行額は1億6500万円であり、そのうち、町長が特に認める事業については、克雪対

策が申請5件、執行額は320万円である。

新國議員 元々の生活再建予算は。

町民生活課長 約5億円である。

新國議員 はるかに及ばない執行額について、これが町民が期待した基金の使い道であったと思うか。

町長 あくまでも県の生活再建支援の基準に基づいて行っているものがある。

新國議員 町長に改めて聞くが、災害を受けた町

民全てに基金が行きわたらなくても良いのか。資金力があって新築・改築できる人には金が配られ、高齢で家も無くなり、自力で再建できず諦めた町民には一切支援がない。

これで平等と言えるか。

町長 あくまでも生活再建支援として、県の基準で行っているのをご理解いただきたい。

新國議員 県の基準というが、町民から不満が出ていることを受けて、県の基準を見直す努力をする気がないか。

町長 只見町独自で見直すというような意志はありません。

新國議員 私からお願いするが、町長が特に認める事業を拡大解釈して、町長の裁量とすることができないか、検討していただけないか。

町民生活課長 現在の基準ではできない。

他に、新庁舎建設、只見地区センターの建設、文化ホールの建設、小水力発電の調査状況のことについて質問しました。



只見地区仮設住宅

藤田 力 議員

木の駅構想調査事業の進捗状況は？

—— 11月を目途に策定する 町長

藤田議員 当初予算に計上されている①小水力発電事業、②木の駅構想調査事業、③只見型道の駅構想事業に町民の関心が多い。今までの進み具合や経過・目標等伺う。

町長 小水力は、水利



権など課題を整理しながら進めている。木の駅は、関係者で検討会を立ち上げ2回開催した。道の駅は、構想策定を会津若松の(株)明天に委託した。

藤田議員 小水力は、只見の民間団体が大方の研究を終えている。大赤沢付近で出力24kw、年間売電益190万円の試算もできている。小水力で水の町只見が一番になれるよう急いで欲しい。木の駅は、未利用材からのチップを作る工場が旧伊南にあり、「きらら289」で実際燃やしている。道の駅は、いつ頃建設する計画か。

産業振興課長 特産品の開発も必要であり、時期は決まっていない。

JR只見線第八橋梁はダム災害ではないか？

—— 当事者間の問題であり単純な回答は控える 町長

藤田議員 豪雨災害の被災者支援金について不公平だと思う。サイレンも広報も無い中で車や家財を無くした人を支援すべき。制度を見なおすか、「町長が特に認めること」を活用してあたたかい支援をすべきと思うがどうか。

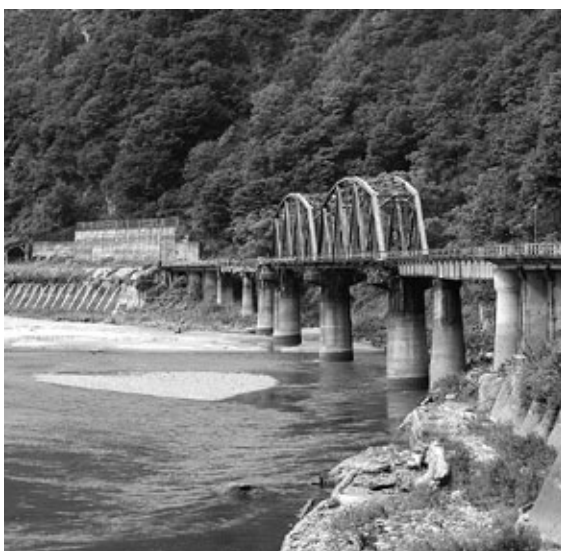
町長 この制度は、県が設置した基金からの交付を受けて実施している。県が定めた活用基準に沿って被災された方々が有効に活用されるよう努める。

藤田議員 私は、寄岩向いの只見線第八橋梁はダ

ム災害と考える。よって、この復旧費45億円は電源開発(株)が負担すべきと考えるが。

町長 当事者間の問題であり単純に申し上げる

ことは差し控えたい。ただ、一日も早い再開通を願う立場から電源開発(株)にできる限りのご理解、ご協力をお願いしたいと考えている。



現在不通区間の只見線第8橋梁

石橋明日香議員

観光振興での経済発展の道筋は？

——町内資源を掘り起こしていく
町長



石橋議員 2020年東京五輪開催に向けての経済波及効果を当町でも得るために、ユネスコエコパーク認定と合わせてどのような取り組みをしていくのか。

町長 人間と自然が共生する地域、エコパーク

て利用される町にしてい
く考えはないか。スポー
ツパーク構想予算を今年
度計上しているが。

町長 ぜひそのような
方向にもっていきたい。
総務企画課長 スポーツ
パーク構想はまだ構想段
階だ。

石橋議員 町内にある資
源を使って、今後いつま
でに、どこをどのように
観光開発し、観光人口を
増やしていくのか。

町長 本町の観光資源
は、雄大な自然、伝統文
化や食、ブナ林、田子倉

ダムからの景観、各種
山々の登山やトレッキン
グ、町内随所での写真撮
影や雪国体験等だ。観光
人口の増加は、エコパー
ク認定が起爆剤になる。
町の認知度向上に努め、
様々なアプローチを検討
していく。

石橋議員 トレッキング
コースの整備、ハート型
に見える田子倉湖のスポ
ットやビューポイントの
明示など、掘り起こせる
ものがたくさんある。新
しいHP（注1）と共に
SNS（注2）媒体等を

利用して積極的に情報発
信していく考えは。今の
時代、情報発信者に情
報・人・お金が集まるよ
うになっているが。



観光客誘致の拠点のひとつ「森林の分校ふざわ」

(注1) HP：ホームページの略。インターネットにつないで
いる複数の人が見ることができるもの。

(注2) SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。
社会的ネットワークをインターネット上で構築する
サービス（ツイッター、facebook、ブログなど）。

町長 当然、外国人観
光客誘致を視野に入れて
いる。

総務企画課長 SNSは
問題点もあり、まずはH
Pでの情報更新を積極的
に行っていく。

石橋議員 今後、外国人
観光客を誘致していく考
えは。また、対応できる町
民を育てるための教育は。

教育長 外国語の習得よ
りも、地元の文化などに
ついて自信をもって語れ
る町民を、只見学を通し
て育てることに力を入れ
ていく。

その他、若者定住を促
進していくための雇用政
策について質問しました。

荒廃農地の活用策は？

—— 今後、耕作放棄地対策に取り組む 町長



鈴木議員 町内にある荒廃農地に対し、農地として復旧することを検討しないのか。

町長 耕作放棄地解消を目的に農地としての再利用を図ることが望ましいと考えていることから、耕作放棄地対策に取り組

んでいきたい。

鈴木議員 町内にある荒廃農地を何とか開拓できないのか。補助事業を導入してでもやるといった前向きな検討はされないのか。

町長 補助制度の活用を含め、地元の方々と協議の場を持つことが大事であると考えている。

鈴木議員 町は超過税率として、当初予算のときに協力を求めているが、税の見直しをする考えがあるのか。

町長 超過税率の税率

については、今までの経過も含め今後も引き続きお願いしたい考えである。

鈴木議員 農地の転用などの事務手続きについて、定期的におしらせばなどで町民に分かりやすく知らせるよう、計画を持つべきであると思うがどうか。

産業振興課長 農地パトロールなど実施しておりますので、地域住民の方に伝えるべき内容を判断した上で適切な農地の管理をしていただくよう啓発を行っていききたい。



あちらこちらに点在する荒廃農地

中野 大徳 議員

ユネスコエコパーク認定に向けた 取組み状況は？

——今あるものを磨くことから始めたい **町長**



中野議員 ユネスコエコパーク認定に向け、観光産業面における取組状況および、現在の進捗状況は。

町長 ユネスコエコパークは、設定地域内に保

今、世界に認められようとしている。

認定後に向けた、観光・産業における取組状況としては、一つとして、「自然首都・只見」伝承産品ブランド化支援補助金を今年度から設けた。

護・保全すべき貴重な自然環境と生物多様性があり、卓越した自然環境と共存しながら伝統的な生活・文化を育んでいることが評価されているもので、「自然」「暮らし」が、

み・観察の森」の整備である。ブナセンターを中心に進めており、集落の近くにある優れた自然を紹介できるよう、集落の理解と協力のもと整備している。今年度は、築取

基本的には、町内の天然資源、農産物資源を利用して作られる伝承産品の技術伝承、開発、販売を支援しようというものである。つる細工などを見込んでいる。次に、「ただ

中野議員 認定は、南アルプス地域と同時に日本では6番目か7番目になる。東北に限れば、白神



体験学習に人気の高い「癒しの森」

山地、中尊寺に継ぐ世界認証となる。学術調査等、光がさす町になっていく可能性を秘めていると考

町長 私もそう思う。一度は訪ねてみたいと思われ魅力的な町にし、

徐々に訪問者が増えていくようにしていきたい。まずは、今あるものを磨いていくことから始めていきたいと考えている。

山岸フミ子議員

健診を充実させる考えがあるか？

——町民の健康意識の向上及び

啓発に努めていく **町長**

山岸議員 健診の目的は、

早期発見・早期治療により病気の重症化を予防し、医療費の増大を防ぐことだ。健診受診率の動向は、

町長 今年度の国保受診率は50%だ。毎年受診率が低下している。

山岸議員 子宮頸がんは

査、眼底・心電図検査が減らされている。これで健診の目的は果たされていると思うか。

町長 子宮頸がんは国のガイドラインに沿って実施している。心電図・眼底検査については医師の判断で実施している。



給食費を無料化にすべきでは？

——無料化について議論が必要だ

町長

山岸議員 少子化対策と

若者定住対策の一環として思い切った政策が必要である。子育ての費用負担軽減のためにも、給食の無料化を行い、誇れる町にすべきだ。

町長 学校給食に要する経費は保護者の負担と

なっている。

山岸議員 少子化対策で

他の市町村も大変な工夫をしている。それ以上の政策がなければ、U・Iターンの若者定住は厳しいものがある。

町長 必ずしも無料化が良いことなのか分から

保健福祉課長 町民の方が生涯を通じて健康な生活を送るための健康づくりを目指している。

山岸議員 健診の周知の徹底、町独自の健診検査項目の追加、負担軽減等、受けやすい状況をつくることを求める。

町長 各種保健事業などを通し、健康意識の向上及び啓発に努めている。

ない。

山岸議員 文部科学省は

自治体などが学校給食への助成を行うことを可能とする通達を出している。保護者の経済的負担の現状からみて、地方公共団体、学校法人などが児童の給食費の一部を補助す

ることを禁止する意図ではないとしている。他町村でも無料化にしている事例もある。将来を担う子どもたちを育てる、安心して生み育てられるまちづくり、誇れるまちづくり事業のひとつとして実施すべきでないか。

町長 通達は承知しているが、全てが無料化という施策が良いものかどうか、多くの方々の意見が必要だ。



朝日小学校の給食の様子

佐藤孝義 議員

布沢松坂峠の改良に 早く道筋を！

—— 県計画で具体化していない **町長**



佐藤議員 住民会議で活動している、県道「布沢横田線」の改良整備を「福島県県道整備10カ年計画」に追加する運動に行政側からも強く応援できないか。

町長 奥会津の環状道

路として、また広域連携道路としても重要な位置にある。そして、豪雨災害後は代替え道路としても重要性が再認識された。しかし、福島県が今年3月に策定した「ふくしま道づくりプラン」には、具体的な整備年次は示されていない。今後は、単なる地域限定の山道でない必要性を強力に訴えていく。

佐藤議員 国道252号線塩沢地区の土砂崩れや交通事故等で頻繁に通行ができなくなる。代替えとして整備するチャンスだ。県担当への働きかけもしていただきたい。

環境整備課長 様々な場面で要望している。現道改良には無理もあるが、今後県としてしっかり取り組む回答は得ている。今後も継続して要望していく。

佐藤議員 この路線は、「癒しの森」を抱え、今後エコパークの中核としての活用も考えられ、観光面からもその整備は重要だと考えるが、産業振興課長 同じ認識でいる。ガイドの育成にも現在取り組んでいる。



国道の代替えとして重要な県道「布沢横田線」

佐藤議員 松坂峠のトンネル化を悲願に郡、町を超えての住民会議も発足している。今後も歴史、文化の交流をしていく上でも応援をいただきたい。

明和地区センター長 金山町からお嫁に来たり、

い ず し ん い ち
伊豆真一さん (叶津)

叶津地内において「ビストロ叶屋」を営
営。地元の野菜などを使った農家レスト
ランとして常連客も定着しています。

只見町に移住して7年目になりますが
が、人口減少をヒシヒシと感じていま
す。ユネスコエコパークに登録申請を
した今、町の活性化と自然首都・只見
の持続可能な良いシステムができ、若
い世代の人が増加することを期待して
います。そのためにも、議員と町民が
気楽に話せる場がもっとあると良いで
すね。



議員の突撃
インタビュー

町政や議会等に対してどのように考えているのかを
町民の方々に議会広報特別委員会の委員が直接お伺
いして、さまざまな想いを聴かせていただきました。

町民のみなさんの意見を

聴かせてくんつえ!



さん べ と よ い ち
三瓶豊市さん (大倉)

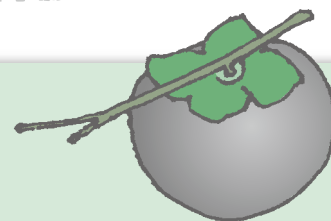
地元建設会社に勤務されており、
現在大倉区長としてご活躍されて
います。

只見町議会は、他の町村にな
いような通年議会制を実施して
おり、ご苦労様です。

只見町議会の目指す議会の姿
として

- 町民に分かりやすい議会
- しっかり討議する議会
- 政策を提言する議会

と目標を掲げていますが、そ
れをしっかりと実行して、議会



と町当局が共に町づくりをして
いくという意識を持って取り組
んでいただきたい。

現在は災害復旧で大変ですが、
今後只見町が素晴らしい住みよ
い町になるように、町民の代表
である議員の皆様が町民の意見
をよく吸い上げ、町民の代弁者
として政策を提言し、しっか
りと討議し、町民に分かりやす
い活動をされることを望みます。

議会の主な動き 平成25年8月1日～9月30日

- 8月2日 陳情者来庁対応
8月6日～8日 議会広報特別委員会視察研修（岩手県岩泉町、宮城県利府町）
8月9日 国道401号改良整備促進期成同盟会総会及び要望活動（東京都）
8月12日 渡部恒三先生顕彰胸像建設実行委員会
8月15日 只見町成人式
8月16日 河井継之助墓前祭
8月20日 JR只見駅開業50周年記念式典及び祝賀会
8月21日 議会8月会議
8月23日 国道289号建設期成同盟会総会（東京都）
8月27日 南会津地方環境衛生組合定例議会、南会津地方広域市町村圏組合定例議会
8月28日 町村議会正副議長・事務局長研修会（福島市）
8月29日 会津総合開発協議会中央要望活動（国交省・自民党本部）
8月30日 市町村総合事務組合議会定例会（福島市）
県道小林・館ノ川線改良促進要望活動（福島県庁ほか）⇒経済文教常任委員会委員出席
9月1日 保養センターリニューアルオープン式
9月4日 魚沼市議会への表敬訪問（新潟県魚沼市）
南会津地方議会行政研究会第1回研修会
9月5日 第64回南会津地方町村議会議員大会決議要望事項の県出先機関要望
9月8日 只見町敬老会
9月9日 請願陳情者来庁
9月12日 林野庁・財務省等への要望活動⇒議長・常任委員長出席
9月13日 県議長会緊急要請活動（東京都）
9月17日 議会9月会議（～27日）

〈その他〉

委員会開催22回（※各常任委員会9回、議会広報特別委員会6回、決算特別委員会4回、議会運営委員会3回）
全員協議会4回、本会議6回

今回の議会だよりはなじょだったかない？

あなたの意見が議会を変える

議会活動や議会だより等に関してご意見のある方は、電話・手紙・メール（gikai@town.tadami.lg.jp）でお寄せください。直接意見を伝えたいという方は、議員と事務局が伺いますので、ご連絡ください。

※「なじょだったかない？」……只見町の方言で「どうでしたか？」という意味。

議会議事録がホームページで見られます

パソコンやスマートフォンから只見町議会のホームページに入ってくださいと議会本会議の議事録を見ることができます。議事録のデータ作成のため議会終了後よりお時間をいただいておりますが、随時更新しておりますのでご覧ください。

<http://www.tadami.gr.jp/gikai/gikaitop.html>

編集後記

なかなか上手く行かないものです。昨年4月から広報委員になり、町民の皆さんに少しでも読みやすく関心を持ってもらえるような議会だよりの編集をするために、委員全員頑張っているのですが……。「難しすぎて理解できない」と

いう意見があれば、中学生にも関心を持ってもらおうと見やすくしてみる。しかし、そうすると今度は「中身が無くてダメだ！」とお叱りを受け、はたまた「議会広報でなぜ視察研修が必要なのだ」と聞かされ、挙句の果てには、皆さんに少しでも議会のことを理解して頂こうと議会だよりのページを増やして発行してみたら、今度は予算が足りなくなり、表紙の写真をカラーでなく白黒にしないと発行できなくなりました（今回の表紙の皆さん、白黒写真でごめんなさい）。

いろいろな事がありますが、町民の皆さんに少しでも解り易く議会に関心を持って頂ける様、今後も編集を頑張りますので、楽しみに待っていてください。

（小沼信孝委員）

議会広報特別委員会

委員長	山岸フミ子
副委員長	石橋明日香
委員	大塚純一郎
	中野大徳
	目黒仁也
	小沼信孝